



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 梅の花

コード番号 7604 URL <http://www.umenohana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅野 重俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営計画室長 (氏名) 上村 正幸

TEL 0942-38-3440

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	8,087	2.3	167	△42.3	142	△19.8	118	—
23年9月期第1四半期	7,904	6.9	290	77.7	178	14.9	△272	—

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 116百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 △270百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	1,665.51	—
23年9月期第1四半期	△4,714.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第1四半期	20,526	6,005	29.3	84,403.80
23年9月期	19,181	6,011	31.3	84,492.09

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 6,092百万円 23年9月期 3,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	0.00	—	500.00	500.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,543	1.8	456	1.1	349	0.0	301	—	4,234.24
通期	29,954	0.7	795	13.1	582	26.2	372	—	5,232.13

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	71,147 株	23年9月期	57,700 株
24年9月期1Q	535 株	23年9月期	— 株
24年9月期1Q	71,071 株	23年9月期1Q	57,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況で、電源供給の制約やタイ大洪水・欧州の債務危機などにより景気の下振れリスクが存在すると言われていたなかで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは「思い立ったら即実行 実行力が会社を変える」を経営方針として、お客様に感極まるサービスを提供できるように取り組んでまいりました。

店舗の出店及び閉店につきましては、外食事業2店舗出店、テイクアウト事業1店舗出店、3店舗の分離と子会社間の異動により、当第1四半期末の店舗数は、258店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高80億87百万円（前年同期比102.3%）、営業利益1億67百万円（前年同期比57.7%）、経常利益1億42百万円（前年同期比80.2%）、四半期純利益1億18百万円（前年同期は四半期純損失2億72百万円）となりました。

なお、セグメントの状況は次のとおりであります。

(外食事業)

昨年に引き続きテレビコマーシャルを重要な広告媒体としてとらえ、お客様に梅の花をより一層アピール出来るようにシリーズ化いたしております。また、和食の店でも洋食を取り入れたクリスマス懐石を提供するなど、新たな試みにもチャレンジいたしました。

出店及び閉店につきましては、梅の花は、10月に「立川店（東京都）」、11月に「岡山店（岡山県）」を出店し68店舗、チャイナ梅の花4店舗、かにしげ3店舗、その他店舗3店舗となりました。従いまして、外食事業の全店舗数は78店舗、売上高は51億21百万円（前年同期比101.9%）、セグメント利益3億24百万円（前年同期比88.7%）となりました。

(テイクアウト事業)

梅の花テイクアウト店に続き、当期より古市庵テイクアウト店につきましても、おせちの取り扱いを始めており売上の拡大に努めております。

出店及び閉店につきましては、古市庵テイクアウト店は変更がなく、138店舗であります。

梅の花テイクアウト店は、10月に「山口井筒屋店（山口県）」、「堺北花田阪急店（大阪府）」、「仙台セルバ店（宮城県）」以上3店舗を古市庵テイクアウト店より分離移管し、33店舗となりました。

その他店舗は、11月に「千林商店街店（大阪府）」を出店し、9店舗となりました。

従いまして、テイクアウト事業の全店舗数は180店舗、売上高は29億66百万円（前年同期比103.0%）、セグメント利益85百万円（前年同期比53.1%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ13億45百万円増加し、205億26百万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億55百万円、季節要因により売掛金が4億62百万円増加したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ13億51百万円増加し、145億21百万円となりました。これは主に、季節要因により買掛金及び未払金が6億89百万円、短期借入金が7億円増加したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ6百万円減少し、60億5百万円となりました。これは主に、利益剰余金が82百万円増加し、自己株式の取得により株主資本が87百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年11月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,808,043	2,663,104
売掛金	1,244,320	1,706,722
商品及び製品	59,916	73,485
原材料及び貯蔵品	148,353	233,033
繰延税金資産	327,744	294,470
その他	451,910	541,838
貸倒引当金	△1,758	△1,758
流動資産合計	4,038,530	5,510,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,622,752	6,962,923
機械装置及び運搬具（純額）	148,468	146,481
土地	4,639,687	4,639,687
建設仮勘定	484,263	1,992
その他（純額）	519,205	597,903
有形固定資産合計	12,414,377	12,348,987
無形固定資産		
のれん	693,794	664,886
その他	79,996	75,918
無形固定資産合計	773,790	740,804
投資その他の資産		
投資有価証券	57,176	55,809
長期貸付金	77,788	77,729
繰延税金資産	53,818	75,765
敷金及び保証金	1,688,518	1,643,923
その他	153,503	151,166
貸倒引当金	△76,468	△78,735
投資その他の資産合計	1,954,337	1,925,659
固定資産合計	15,142,505	15,015,451
資産合計	19,181,036	20,526,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	575,074	980,632
短期借入金	1,300,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,473,388	2,488,755
未払金	1,159,325	1,443,488
未払法人税等	39,400	40,560
賞与引当金	241,300	128,500
ポイント引当金	106,945	110,022
その他	651,849	792,481
流動負債合計	6,547,282	7,984,440
固定負債		
長期借入金	5,184,176	5,116,625
退職給付引当金	141,620	148,275
デリバティブ債務	488,912	452,609
資産除去債務	608,328	616,891
その他	199,357	202,431
固定負債合計	6,622,395	6,536,832
負債合計	13,169,677	14,521,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,852	3,804,852
資本剰余金	3,181,841	3,181,841
利益剰余金	△969,856	△887,060
自己株式	—	△87,594
株主資本合計	6,016,837	6,012,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△752	△2,236
為替換算調整勘定	△4,725	△4,725
その他の包括利益累計額合計	△5,478	△6,962
純資産合計	6,011,359	6,005,077
負債純資産合計	19,181,036	20,526,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,904,860	8,087,813
売上原価	2,301,993	2,341,652
売上総利益	5,602,866	5,746,160
販売費及び一般管理費	5,312,332	5,578,590
営業利益	290,534	167,569
営業外収益		
受取利息	1,330	1,075
受取配当金	109	845
受取手数料	2,052	1,939
デリバティブ評価益	—	10,487
雑収入	12,370	8,632
営業外収益合計	15,862	22,980
営業外費用		
支払利息	43,884	31,739
デリバティブ評価損	71,888	—
雑損失	12,594	16,118
営業外費用合計	128,368	47,858
経常利益	178,028	142,691
特別利益		
貸倒引当金戻入額	500	—
特別利益合計	500	—
特別損失		
固定資産除売却損	1,207	3,589
投資有価証券評価損	13	546
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	369,023	—
減損損失	—	775
特別損失合計	370,243	4,911
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△191,714	137,780
法人税、住民税及び事業税	6,314	8,819
法人税等調整額	73,977	10,590
法人税等合計	80,291	19,410
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△272,006	118,369
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△272,006	118,369

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△272,006	118,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,629	△1,484
その他の包括利益合計	1,629	△1,484
四半期包括利益	△270,377	116,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△270,377	116,885
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食事業	テイクアウト 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,026,224	2,878,635	7,904,860	—	7,904,860
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,663	20,572	22,236	△22,236	—
計	5,027,888	2,899,208	7,927,097	△22,236	7,904,860
セグメント利益	366,087	160,461	526,548	△236,014	290,534

(注) 1 セグメント利益の調整額△236,014千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食事業	テイクアウト 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,121,527	2,966,285	8,087,813	—	8,087,813
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,522	18,192	20,715	△20,715	—
計	5,124,050	2,984,478	8,108,528	△20,715	8,087,813
セグメント利益	324,800	85,148	409,949	△242,379	167,569

(注) 1 セグメント利益の調整額△242,379千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年12月5日開催の取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を実施いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式は87,594千円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。